



ズバッと!

Q&A

PET検査で何が分かる?

年齢を重ねるにつれて発症率が高まるがんですが、小さな早期のがんを発見しやすい検査として、PET（陽電子放射断層撮影）が山梨県内でも実施されています。がんの発見だけでなく、認知症の確定診断もできるというPET検査とは一。甲府脳神経外科病院理事長の篠原豊明医師に聞きました。



甲府脳神経外科病院
理事長

篠原 豊明さん

しのはら・とよあきさん
甲府脳神経外科病院理事長。日本脳卒中学会専門医。
日本臨床脳神経外科協会、日本早期認知症学会所属。



PET検査の特徴は。



痛みを伴わずにがんの検査をすることができ、見つけにくいとされる胃がんやすい臓がんは1割以上、ほかのがんは5割程度の早期のものも見つけることが可能です。山梨PET画像診断クリニック（中央市）には、全身を検査できるPETと乳房専用のマンモPETがあります。



小さながんでも見つけられるんですね。



PET検査は1割以下の早期がんの発見が可能です。マンモPETでは、3割程度の小さな乳がんを発見することができます。乳がんの検査のマンモグラフィは、乳房を挟むため痛みを感じる人が多いです。マンモPETはうつ伏せになって乳房をセットするだけです。挟まないなので、痛みは伴いません。



検査の流れを教えてください。



医師らによる問診の後、検査薬を注射します。検査薬が体内にいきわたるように1時間程度安静にしたら、PET装置に横になって全身を撮像します。撮像時間は15分程度ですが、受付から検査終了まで約2～3時間程度かかります。費用はがんの健診目的ですと自費診療となり約9万円ですが、治療の経過を見る場合などは保険が適用されます。



がんの検査以外でも使うことはありますか。



認知症の確定診断に使うアミロイドPETという検査があります。一般の診療で物忘れテストとMRIで認知症の検査を行い、SPECTという脳の血流を調べる検査をします。アルツハイマー型認知症の疑いがあれば、アミロイドPETという検査を行います。アルツハイマー型認知症と確定した場合、最近話題となっている認知症の新薬「レカネマブ（商品名レケンビ）」の投薬が可能になります。